

新たな施策の柱の考え

柱	現行計画の取組															
安全	<p>自転車走行空間の整備 ⇒交通量や事故状況を踏まえ、整備路線を選定するとともに、道路現況に応じて、自転車レーンなどの整備を実施</p> <p>【実績】整備延長 (km/計画期間)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10.9km/5年間 ※延べ整備延長 20.5km (H17～H27) 															
	<p>交通安全教室の実施 ⇒地域住民や学校、警察などと連携し、様々な交通安全教室を実施</p> <p>【実績】スマートストリート方式による交通安全教室 (実施回数/年)</p> <p>H23 : 5回/年 ⇒ H26 : 9回/年</p> <p>安全啓発活動の実施 ⇒地域住民などと連携した自転車の安全利用のための街頭指導を実施</p> <p>【実績】街頭指導 (実施回数/年)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・H23 : 32回/年 ⇒ H26 : 40回/年 															
快適	<p>交通結節点への駐輪場整備 ⇒JR宇都宮駅西口駐輪場の増設や主要なバス路線のバス停に駐輪場整備</p> <p>【実績】駐輪場の収容台数・箇所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鉄道駅 JR宇都宮駅西口駐輪場 (H24) 2,984台⇒3,224台 (240台増) ・バス停付近 (延べ整備箇所数) H22 : 3箇所 ⇒ H26 : 6箇所 ※バス停付近駐輪場 (H26) 県整備9箇所 バス事業者等整備6箇所 															
	<p>自転車の駅 ⇒サイクリングルート上のコンビニエンスストアなどと連携し、駐輪ラックや修理工具を配置し、自転車利用者をサポート</p> <p>【実績】設置箇所数 (箇所/計画期間)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・H22 : 実績なし ⇒ H27 : 44箇所/5年間 															
楽しく	<p>宮サイクルステーションの運営 ⇒自転車の利用促進の拠点施設として、スポーツバイクのレンタやセミナーの開催、情報発信などを実施し、サイクルスポーツを振興</p> <p>【実績】利用者数 (人数/年)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>来館者</td> <td>6,296人</td> <td>4,725人</td> <td>5,610人</td> <td>5,692人</td> </tr> <tr> <td>レンタル</td> <td>883人</td> <td>602人</td> <td>852人</td> <td>1,173人</td> </tr> </tbody> </table>		H23	H24	H25	H26	来館者	6,296人	4,725人	5,610人	5,692人	レンタル	883人	602人	852人	1,173人
		H23	H24	H25	H26											
	来館者	6,296人	4,725人	5,610人	5,692人											
レンタル	883人	602人	852人	1,173人												
<p>サイクリングルートの設定 (自転車マップの作成) ⇒ジャパンカップコースや市内の観光施設を巡るルートを設定した自転車マップを作成し、宮サイクルステーションやイベントなどで広く配布</p> <p>【実績】作成部数 (部/年)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7,200部/年 (H26) 																
<p>レンタルサイクルの運営 ⇒市営駐輪場で実施しており、H23に貸出箇所を7箇所に増設するとともに、電動アシスト自転車を導入</p> <p>【実績】利用者数 (人/年)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・H23 : 34,277人/年 ⇒ H26 : 45,707人/年 																
健康とエコ	<p>自転車モニター事業 ⇒市民を対象とした本格実施に向けて、職員を対象とし、自動車通勤から自転車通勤に切り替える自転車モニターを試行的に実施</p>															

評価と課題
<ul style="list-style-type: none"> ・整備路線においては、事故が減少し、自転車レーンの整備が自転車と歩行者の交通安全に有効な手段であることが確認されたが、これまで整備に至らなかった交差点部や狭隘な路線についても新たな整備手法を活用し、自転車走行空間の連続性を確保する必要がある。 【整備路線における事故の件数】 (整備前) 22件⇒(整備後) 12件 ※整備路線全体の平均値 【自転車のまち推進協議会】 自転車事故の削減を目標値とした施策事業を展開する必要がある 【環境変化】 <ul style="list-style-type: none"> ・道路交通法の改正 (路側帯の走行方法) や国のガイドライン (走行空間の整備の考え方) の策定
<ul style="list-style-type: none"> ・交通安全教室の実施や道路交通法の改正などにより、ルール、マナーに対する安全意識が高まっているが、右側走行や信号無視など、ルール・マナーを守らない利用者も見受けられることから、安全意識と安全走行がつながるよう、啓発活動のさらなる充実を図る必要がある。 【市民アンケート】 (ルール・マナーの認知度に対する回答割合) ・ルール・マナーに対する認知度 約70% 【自転車のまち推進協議会】 ・自転車事故の削減を目標値とした施策事業を展開する必要がある 【環境変化】 ・道路交通法の改正 (違法運転者に対する安全講習の義務付け)
<ul style="list-style-type: none"> ・JR宇都宮駅周辺の駐輪場においては、駐輪ニーズが高いことから、定期利用の待機者が発生している。また、バス停付近においては、バス事業者と協議の上、整備の必要性の高いバス停に設置してきたところであるが、利用状況や昨年度実施した調査結果を踏まえながら、効果的に整備を進め、自転車と公共交通の連携を図る必要がある。 【自転車のまち推進協議会】 ・交通分担率の増加を目標値とした施策事業を展開する必要がある
<ul style="list-style-type: none"> ・サイクリングルート上のコンビニエンスストアなどと連携しながら、自転車利用者をサポートしてきたところであるが、自転車交通量を踏まえながら、効果的な場所に設置し、更なる自転車の利用環境の向上に取り組んでいく必要がある。 【環境変化】 ・スポーツバイクの販売台数の増加 (全国) H15⇒H23で約3.5倍
<ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者と連携しながら、レンタサイクルの利用促進策やセミナーの充実などのサービスの拡充に取り組んできたことにより、利用者が増加傾向であるなど、サイクルスポーツの振興につながっている。一方で、さらなるサービスの向上が求められていることから、事業の拡充を図る必要がある。 【宮サイクルステーション来館者アンケート】 (新たに必要なサービスに対する回答割合) ・スポーツバイクの預かりサービス 30% メンテナンスサービス 23% 駐車場の整備 21% 【環境変化】 ・スポーツバイクの販売台数の増加 (全国) H15⇒H23で約3.5倍 【指定管理者からの意見】 ・新たにスポーツバイクの預かりサービスなどに対応するためには、施設規模を拡充する必要がある。
<ul style="list-style-type: none"> ・市内のサイクリングルートを設定した自転車マップ等で利用促進を図ってきたが、より広域的な周遊に対するニーズもあることから、サイクリングルートのさらなる拡充に向け、自転車で都市間や観光地がつながるよう周辺自治体などとも協力し、広域的なサイクリングを楽しめる環境をつくる必要がある。 【宮サイクルステーションレンタサイクルアンケート】 (レンタサイクルの目的地に対する回答割合) ・市内観光 23% 日光市 10% ジャパンカップコース 9%
<ul style="list-style-type: none"> ・鉄道駅の貸出場所を中心に普通自転車のレンタサイクルが利用されているが、電動アシスト自転車については、十分に認知されておらず、普通自転車と比較し利用率が低いため、さらなる回遊性の向上につながるよう電動アシスト自転車の利用促進を図る必要がある。 【市民アンケート】 (レンタサイクルの認知度) 普通自転車のレンタサイクル 24% 電動アシスト自転車のレンタサイクル 5%
<ul style="list-style-type: none"> ・自転車は「健康や環境に良い乗り物」として認知されていることから、さらなる周知啓発を行うとともに、メリットを体感する取組を実施するなど、自転車の利用を促進する必要がある。 【市民アンケート】 (自転車を利用する理由) ・経済的 60% 健康増進 57% 時間短縮 40% 環境負荷低減 26%

方向性
自転車レーンが つながる
自転車の 安全意識と 行動が つながる
自転車と 公共交通が つながる
自転車の楽しさと 人が つながる
まちが自転車 で つながる
日常生活と 自転車が つながる

新たな施策の柱【自転車をつながる】を設定